

後期の授業形態について

【ご意見・ご要望】（投稿日：2020年7月13日）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前期の対面授業を開講しないという難しい決断をされて、非常にありがたかったです。ありがとうございました。

今回は、後期の授業形態について意見を申し上げたく連絡させていただきます。

私は持病を抱えた祖母と同居しています。

持病を持つ人が感染すると命を落とす危険性が高まると聞いているので、私の家族は人一倍感染予防に注意しているつもりです。

また、ワクチンなど感染防止の薬が正式に認められるのは、2021年に入ってからだとも聞いております。

そんな中、後期になって対面授業が始まり、大量の人と接触することになるのは心配でなりません。

どうか後期も対面授業は行わない方針にしてくださいませんか。

そうは言っても対面での重要性は理解しているので、対面授業に参加しても良いと考える学生は対面授業形式でも受けられるといった工夫をするのもひとつの手段だと思います。

実現困難かもしれませんが、大切な人の命にかかわることなので、そういう学生も居ることも考慮して対応いただけることを切に願います。

そうした観点から、前期の対面授業を行わない方針は本当にありがたい判断でした。

後期も柔軟な対応をよろしく願いいたします。

【回答】（回答日：2020年8月5日）

（回答者：教育推進・学生支援部教務企画課）

御意見、ありがとうございます。新型コロナウイルスの感染が拡大している状況において、後期に向けては、オンライン授業と対面授業を組み合わせた方法を検討しております。

なお、決定事項ではありませんので、正式に決まりましたら改めて通知いたします。

学生の皆さんが、それぞれの環境において新型コロナウイルス感染を防止しつつ、積極的に授業に参加できるよう配慮してまいります。